

# shiga

商工連会報

# 3

March 2017  
vol.316

## 特集

経営ワンポイントアドバイス

## 効果的なハラルビジネスの商業戦略

商工会の取り組み

## 商工会が運営する道の駅(東浅井商工会)

## 支援事例紹介

「行きます・聞きます・提案します！」

## 浦部石材工業(有)(豊郷町商工会)

## 久保田電気(多賀町商工会)

## Contents

- ◇効果的なハラルビジネスの商業戦略…………… P2,3
- ◇産業雇用安定センター／県住民税案内…………… P4
- ◇発明協会…………… P5
- ◇絆プロジェクト報告…………… P6
- ◇東近江市商工会／滋賀県信用保証協会…………… P7
- ◇【商工会の取り組み】商工会が運営する道の駅(東浅井商工会) …… P8
- ◇行きます・聞きます・提案します～支援事例紹介～…………… P9,10
  - ◆【浦部石材工業(有)】(豊郷町商工会)
  - ◆【久保田電気】(多賀町商工会)





●地域経済活性的なスペシャリスト、マーケティングが専門で国内外に精通し、特に販路拡大と広報PRが得意で、ハラル(イスラム)ビジネスでは年間100本以上のセミナー・講演・企業研修等を実施する。ハラル認証団体ではなく、教育、調査、PRなどマーケティング支援団体の立ち位置で、イスラムビジネスのプラットフォーム事業で地域の中小企業をサポート。海外のイスラム諸国57カ国とネットワークを構築し、輸出・進出及びインバウンド対応まで行います。

内インバウンドとあらゆるマーケティングが必要です。しかしインバウンドとアウトバウンドはあえて別モノとして考えることです。ASEANを中心としたイスラム圏への進出・輸出をすでに進めている企業には、やはり大手が目立ちます。食についていえば、吉野家や丸亀製麺がハラル認証を取得し、インドネシア、マレーシアなどに進出しています。食品メーカーでは、インドネシア、マレーシアなどに海外法人を立ち上げ、生産拠点を設けている味の素、ヤクルト、大塚製薬、ポッカサッポロなどです。イスラム圏への進出には、言葉、貿易、マンパワー、情報……といった障壁があり、一部の例外を除き、中小企業には高いハードルとなっているのが実情です。現在、日本企業ではイスラム圏での店舗展開や商品輸出を探る動きがあり、今後、その動きは続々と表面化してくるでしょう。

とはいえ、まだまだアウトバウンド、インバウンドとも、日本企業によるムスリム市場への取り組みは始まったばかりです。地方企業、中小企業にもチャンスがあります。国内マーケットは肉と調味料が主役になると考えれば、これからメニュー、商品開発に期待できます。

## 5.国内展望

食分野における“メイド・イン・ジャパン”に対するムスリムの人気は根強いものがあり、とりわけインバウンド需要では、中小企業にもビジネスチャンスが広がっています。しかし、ハラル認証は、取得すればすぐに販売増に結びつく“魔法のマーク”ではありません。まずは、自社製品に需要があるかどうかを見極めながら、段階的に取り組んでいくとよいでしょう。

ムスリムに人気で成功しているのが、東京・港区にある焼肉店「炭やき屋・西麻布本店」です。5年前にハラル認証を取得し、現在は来店客の約50%がムスリム客とのことです。この店では、日本人客向けにお酒(アルコール)を提供しています。しかし、厨房で扱う調理器具や食器はハラル専用のもを揃えており、牛肉や鶏肉もハラル認証肉を使用しています。

ハラル肉はと畜方法が違うだけで味も食感も変わらないので、日本人客にも同じ肉を提供しています。

ムスリムのなかには、肉がハラルであれば、皿や箸は専用のものではなくてもいい

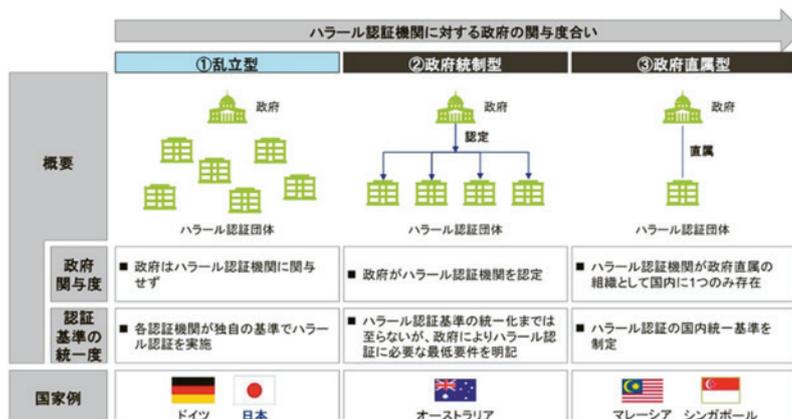
と考える人もいます。店で常時使用している食器に加えて、使い捨ての皿やコップを用意しておくだけでも、ハラル対応は可能だと思います。そしてそうした対応を実施していることを開示する。日本国内でのハラル対応には、手軽にできるものからさまざまなかたちが考えられ、それらがムスリムに喜ばれるおもてなし方法のひとつとなっていくと思います。

## 6.未来予想・おわりに

和食はユネスコ無形文化遺産登録を受け、これからヘルシー、ダイエット、長寿メニューとして世界中に広がっていきます。日本へ訪れる外国人も3,000万人、5,000万人と増加すると予測されます。一方日本の人口は減少し、胃袋も小さくなります。新しい販路としてメイドインジャパンの和食の可能性がありますが、日本人は宗教の正しい理解を苦手とする傾向がありますが、理解することで、ムスリムに対してはより効果的な付加価値提供ができる時代になっています。

ハラルビーフを例にとれば、それはイスラム教徒専用ではなく、トレーサビリティが担保された、安全安心の認証になります。ハラルは宗教的な食事ではありませんが、“ムスリム専用食”ではありません。ハラルは、実はオーガニックやベジタリアン、アレルギー料理に近いもので、ムスリムだけでなく、日本人にも十分にアピールできるメニューとなります。そのなかから、健康志向や安全安心ブームにも乗って、ムスリムにも日本人にもヒットするハラル料理が生まれる可能性はあり得るでしょう。

ハラルビジネスにおける商業戦略は、言い換えればいかに他の文化を理解し、日本固有のおもてなしをベースにした戦略を練って行けるかにその本質がありそうです。



※ハラル/ハラールは同義語です  
出典：デトロイト トーマツコンサルティング合同会社

# 「失業なき労働移動」をめざして 企業間の人材マッチングを支援しています!

お気軽に  
ご相談ください

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、全国ネットを通じて、  
人材の確保、従業員の再就職支援に努めています。

確かな実績と信頼	幅広いデータベース	相談等の費用は無料
昭和62年に経済・産業団体と国の協力で設立された公益財団法人です。	ハローワークや経済団体などと連携し豊富な人材情報を提供しています。	情報の提供、相談、あっせんについての費用はかかりません。



## 【出向・移籍の専門機関】



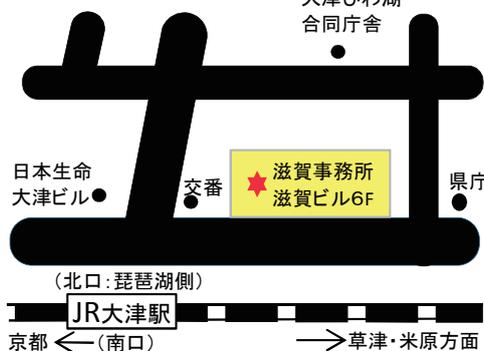
公益財団法人  
産業雇用安定センター 滋賀事務所

〒520-0051 大津市梅林1-3-10 滋賀ビル6階  
TEL 077-526-3991 FAX 077-526-2761

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

●大津駅北口から徒歩3

大津びわ湖  
合同庁舎



～滋賀県と県内すべての市町から事業主の皆様へのお知らせです～

## 個人住民税の特別徴収制度

特別徴収制度は、給与支払者(事業者)が所得税の源泉徴収と同様に、毎月従業員に支払う給与から個人住民税(市町民税、県民税)を徴収(引き去り)し、納入していただく制度です。

地方税法および各市町の条例により、給与を支払う事業者は、原則としてすべて特別徴収義務者として、個人住民税を特別徴収していただくことになっています。

なお、従業員が常時10名未満の事業者は、申請により、通常12回の納期を2回とすることができます。

特別徴収の手続など詳しくは、**各市町の個人住民税担当**、もしくは以下の電話番号までお問い合わせください。

### 特別徴収のメリット

#### ■給与所得者(従業員)は…

- ◎毎月、給与から徴収(引き去り)されるため、納め忘れがありません。
- ◎納税のために、納期ごとに金融機関へ出向く必要がありません。
- ◎納期が、普通徴収(納付書、口座振替による納付)の4回に比べ、特別徴収は12回であることから、1回当たりの負担が少なくて済みます。

#### ■給与支払者(事業者)は…

- ◎市町が税額の計算を行うため、所得税と違い、税額計算や年末調整の必要がありません。

滋賀県総務部税政課 電話：077-528-3213

# 知財総合支援窓口

無料  
相談

知財総合支援窓口とは、中小企業や中堅企業等が経営の中で抱える、アイデア段階から事業展開までの知的財産（特許、商標等）に関する悩みや相談を、窓口担当者がワンストップで受け付ける相談窓口です。

栗東市の滋賀県発明協会や県内の商工会・商工会議所等の相談窓口では、「弁理士による個別・無料相談会」を行っています。

相談会の日程はホームページ [www.chizai-shiga.jp](http://www.chizai-shiga.jp) をご覧ください。

「知財総合支援窓口」に  
お気軽にご相談ください!!



秘密は  
守ります

こんなときにご活用を!!

- 特許・意匠・商標を取得したい
- 他社と権利侵害等でもめている
- 商品をブランド化して価値を高めたいなど



イラスト:成安造形大学 森田 存

お問い合わせ先

知財総合支援窓口

一般社団法人滋賀県発明協会

滋賀県栗東市上砥山 232 滋賀県工業技術総合センター別館 1階 (駐車場有)

TEL 077-558-4040

FAX 077-558-3887

<http://www.chizai-shiga.jp/>

知財総合支援窓口運営業務は独立行政法人工業所有権情報・研修館請負事業です。

# しが絆プロジェクト

ヒト・モノ・コトを結ぶ

しが絆プロジェクトでは、地域の絆を活かして、滋賀の新しい魅力を生み出すビジネスを応援しています。平成28年度モデル事業では最大110万円の補助を行い、5件のビジネスモデル作りをサポートしました。

## <採択されたビジネスモデル>

### ナーシングクリエイト(株) (大津市)



災害から命を守るプロジェクト  
～ベビー防災への取り組み～

### (株)レークケア (甲賀市)



レークケア  
見守りネットワークの構築

### みんなの奥永源寺 (東近江市)



みんなの奥永源寺プロジェクト  
～奥永源寺まるごとコンテンツ事業～

### Sato Home & Tour (東近江市)



地域住民との絆で作る  
新しいインバウンド事業のかたち

### 子育て応援カフェ LOCO (長浜市)



JOB LOCO社会復帰支援事業

また、webサイトには、地域の絆を活かしたビジネスに取り組む方をマッチングする「しがのヒトをつなぐ」や県内の会社を紹介する「絆ワークスタイル」、そして今年度より「クラウドファンディングに挑戦」という新しいコンテンツを掲載して、クラウドファンディングによる資金調達もコーディネートしています。ぜひご覧ください。

## <サイトコンテンツ>



### 絆ワークスタイル

久保美子さん

きれいやプラスワン美容室(栗東市)



### 東近江市観光協会

観光・移住・起業がしやすいまちづくりの推進  
観光・まちづくり・コミュニティ  
観光・移住・新しい土地への移住、起業をお考えの方

### しがのヒトをつなぐ

(東近江市観光協会)



初歩から詳しく！

### クラウドファンディング A to Z

クラウドファンディングに  
挑戦

# 伴走型支援で成果を上げる「女性のための創業塾」& 安倍首相夫人を招いたシンポジウム

東近江市商工会では女性(主婦やOL)に特化した「女性のための創業塾」を5年間にわたって開催しています。毎年30名前後、延べ130名が受講され、その内41名が創業されています。その実績は国や市からも高く評価され、昨年度は全国の商工会では初めて内閣府から「女性のチャレンジ賞」を受賞しました。



昨年11月には、創業者41名の中から卒業生4名を招き、パネルディスカッションを行いました。卒業生の1人である石田富生枝さんは、自身の子育て経験から、産前産後や就園前の子供を持つ母親を精神的にサポートしたいと考え、メンタルサポートを取り入れたヨガ教室を平成29年1月に創業塾と一緒に学んだ整体師とオープンされました。石田さんは、「スタジオ建設の進捗状況を見に来てくれるほど親身になって支援してくれる」と商工会のきめ細かな支援を評価されています。

また、卒業生で視覚障害がある森野裕香里さんは、よもぎ蒸し療法を取り入れた鍼灸マッサージ治療院を平成29年春にオープンする予定です。森野さんは、「視覚障害があっても自立した生活を送りたいとの思いで塾を受講しましたが、最初は資料を読むことができな

いので苦労しました。商工会で資料内容をICレコーダーの音声データに変換してもらい創業塾も卒業でき、さらには創業することができました。」と、創業までの経緯を語られました。



パネルディスカッション後の基調講演では、安倍首相の夫人で自らも居酒屋を開店した安倍昭恵さんに自らの創業体験をお話し頂きました。昭恵さんは、「主人が総裁選に出馬するにあたり、多くの人から『失敗したら次がなくなるので出ない方が良い』と言われました。主人は『失敗したら、次に出ればいいじゃないか。次に失敗したら、その次に出ればいい』と言って出馬しました。失敗を恐れず、挑戦していただきたい」と、創業を目指す女性にエールを送られました。

女性創業者の増加は、地域や商工会の活性化にも貢献します。東近江市商工会では引き続き卒業生を定期的に訪れ、アドバイスを送る等きめ細かな伴走型の支援を行っています。



## 挑戦しつづける滋賀県の中小企業・小規模事業者を 私たち、滋賀県信用保証協会が強力にサポートします。

滋賀県信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。資金調達をサポートや創業・経営支援など様々な取組により中小企業・小規模事業者のみなさまを全力で応援します。

### 小規模事業者向けの保証制度が充実!

#### ■ 経営支援資金保証(小規模企業者特別枠)

融資限度額：**500万円**  
(ただし、保証債務残高1,250万円以内)  
融資期間：運転5年・設備7年  
融資利率：**固定1.25%**  
保証料率：0.50～1.20%

#### ■ 小規模事業者特別保証

融資限度額：**1,000万円**  
(ただし、白色申告の個人事業者500万円以内、月商3ヶ月以内、保証債務残高3,000万円以内)  
融資期間：**10年**  
融資利率：金融機関所定  
保証料率：0.35～1.80%(中小企業会計割引・有担保割引併用で**保証料最大0.3%の引き下げ**)

平成29年3月31日  
受付分まで

金融相談・経営相談は、お近くの**商工会**または**滋賀県信用保証協会**にご相談ください。

ご相談窓口

保証部 保証第1課・第2課

TEL 077-511-1321・1322 / HP <http://www.cgc-shiga.or.jp>



支える味方、保証の力

滋賀県信用保証協会



## 全国初！商工会が運営する 道の駅「浅井三姉妹の郷」オープン (東浅井商工会)



今春から国土交通省認定「道の駅」として本格稼働

東浅井商工会では、昨年3月から共同販売拠点「浅井三姉妹の郷」を運営しています。この施設は旧東浅井郡(湖北町・浅井町・虎姫町)3商工会が合併し、新しく「東浅井商工会」が発足するのを機に整備されました。今春、国土交通省認定「道の駅」として本格的に稼働することになり、商工会が運営するのは全国でも珍しいと注目されています。

取り扱う商品は、農産物をはじめ、地域の特産品や加工食品、工芸品など種類も豊富。館内のレストランでは地元産の自然薯(じねんじょ)を使ったメニューを名物として発信したり、希少なジャージー牛乳を使ったジェラートも提供しています。一般的な道の駅と大きく異なるのは、チャレンジショップの機能が備わっていること。商工会会員の皆さんが自社の商品やサービスをPRする場としての役割も担っています。



新鮮な農産物や特産品が充実

これまで経営を支援する側だった東浅井商工会の担当職員は、一事業主として店舗経営に奮闘しています。例えば、棚や商品のレイアウト、陳列方法や季節感のあるディスプレイ、商品の仕入れや開発、人材管理、PR方法など、慣れない仕事に頭を悩ませながら試行錯誤の毎日。日々の数字に一喜一憂したり、「道の駅」の看板を設置した途端に集客・売上アップを実感するなど、職員にとって経営を実践的に学ぶ貴重な場となっています。



工夫を凝らした店舗づくりも必見

施設内には厨房を備えた食品加工所があり、独自商品の発信も目指しています。目標はこの場所を地域経済の活性化、地域振興の拠点として活用すること。今後は地元企業や農業を営む生産者と連携し、「商工会と地域の人が運営する道の駅」として差別化を図り、さまざまな可能性に挑戦していく予定です。

北陸自動車道・長浜ICから車で10分、まもなく開通予定の小谷城スマートインターチェンジから5分とアクセスも便利。地元住民はもちろん、今後は観光客の利用増加も期待されています。皆さんもぜひご利用ください。

### 支援担当職員の紹介



#### 東浅井商工会

滋賀県長浜市内保町2843  
TEL: 0749-74-0194

担当職員：課長 藤田 勝一(写真右)  
主査 松橋 朋之(写真左)

この事業は、まさに近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」を実現する商売の原点です。成功させるためには、関わる人々が同じ方向を向いて進まなければなりません。その事業に関わらせてもらえることは本当にいい経験だと感じています。これを機に、さらに力を尽くしたいと思います。(藤田)

実践を通して地域の活性化を目の当たりにできる場所で仕事をさせていただいています。お客様の反応を直接見ることができるので、客層や価格帯の判断、商品の改良にもつなげられる可能性を感じています。特に新規創業の方、意欲ある農業の方の加工品づくりなど、商工会が運営する道の駅として、事業発展のためにぜひご利用ください。(松橋)



## 業界初！室内に置く小型墓石「たくぼ」販路開拓

### 浦部石材工業 有限会社 ～豊郷町商工会～

〒529-1174 犬上郡豊郷町下枝120  
TEL: 0749-35-2207 FAX: 0749-35-4619  
<http://www.urabesekizai.com> info@urabesekizai.com



浦部 弘紀 社長

浦部石材工業の創業は明治15年、墓石をはじめ寺社仏閣、庭石、記念碑、モニュメントなど石材工事全般を担う企業として成長してきました。しかし時代の変化とともに石材の需要は減少、老朽化や後継者の不在を理由に撤去の依頼も増え、新たな設置も少ないのが現状です。

特に大きな変革期を迎えているのが墓石。その背景にはライフスタイルや家族構成、思想の多様化が影響しています。この状況に危機感を覚えた4代目社長の浦部弘紀さんは、業界初、全国初の新商品「宅墓(たくぼ)」を開発。納骨ができ、室内に設置する小型墓石として平成27年6月から販売を開始しました。

「たくぼ」の強みは、通常の墓石に比べて経済的な負担が少なく、配送で購入でき、自分で設置できること。コンパクトでデザイン性も高く、石の色が選べたり、文字や色、絵柄も自由に入れることができます。この特長を生かし、商工会の支援を受けて商標登録と意匠登録を取得。タイミングよく持続化補助金の申請もでき、採択後はホームページを作成しました。その翌年にはインターネットを利用しない客層に向けてチラシを配布、県内都市部への新聞折込も行ない



石の色は5色、文字や絵柄も自由自在



専用の梱包材で配送

ました。

その結果、全国から多くの問い合わせや注文が入っています。購入者は、マンション住まいの人、遠方や高齢でお墓の維持管理が難しくなったからという人、分骨用など動機はさまざまですが、自宅で故人を偲ぶことができる新しい手元供養として認識が広がっています。

「「たくぼ」という考え方が普及し、家にお墓があることが当たり前になればいいなと思っています」。そう話す浦部社長は、他業界との連携も視野に入れ、積極的に販路を開拓中です。

### 支援担当職員の紹介

**豊郷町商工会**  
犬上郡豊郷町石畑374-6  
TEL: 0749-35-2022  
担当職員: 参事 門野 理



石材業界に限らず、どの業界もいまは厳しい時代を迎えています。その中で生き残っていくためには他業界との連携、複合的な展開が必要です。現代人の暮らしに合うよう考案された「たくぼ」は可能性を秘めた商品だと考えています。今後は葬祭業界の展示会への出展など、業界の枠を越えて働きかけ、さまざまな角度からご提案、販路拡大を支援していく予定です。

